

市長、町並みと
文化を後世に

第一学院高で特別授業

山野之義市長は25日、通信制・単位制高校「第一学院高」の金沢キャンパス（堀川新町）で特別授業を行った。金沢が戦災や大震災、津波被害に遭っていないことを紹介し、古い町並みや文化を後世に残す大切さを説いた。

山野市長は大学生時代に先輩と会社を設立して倒産した苦い思い出や、市議選、市長選に立候補した経緯を振り返った。まちや文化を守り伝えてきた先人に感謝し、「守るだけではなく、どうやって工夫してより良くなるかを考えている」と現在の職務への熱意を語った。

授業は同校のキャリア教育の一環で、1、2年生と保護者の26人が出席した。